ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言

1「コロナ・ハラスメント」とは?

新型コロナは人類未知のウイルスであり、誰しも怖いものです。

この病気に対する恐怖心、誤解や偏見により、知らず知らず誰かを排除したり、差別をしていませんか?身近なところで以下のようなこと(コロナ・ハラスメント)が起こっていませんか?

- 退院した感染者が、お店の方から「帰れ」と言われた。
- 医療従事者の子どもが、保育所で受け入れ拒否やいじめを受けた。
- 子どもが学校を休むと、同級生にコロナに感染したと言われた。

○ご相談・お問い合わせは、以下まで。

岐阜県人権啓発センター
☎058−272−8252
総務課
☎27−0171

2「思いやり」と「感謝」を

新型コロナは、誰でも感染する可能性があり、私たちが闘っている相手は、人ではなくウイルスです。

感染した方を「思いやり」、その立場を守ります。また、最前線で治療や社会生活維持にあたる医療従事者や関係者の方々に「感謝」します。

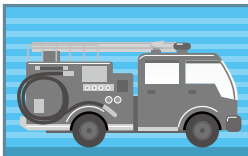
このように人との絆を大切に、この難局を乗り越えましょう。

○患者、濃厚接触者、医療従事者、外国人の方々、他地域からの来訪者そして、それらのご家族や特定の店舗などへの差別的扱い、非難をなくしましょう。

○不確かな感染情報(デマ)の拡散は許されることではありません。SNSに書き込むなど安易に広げることは、かえって人に不安を与えるだけです。

○医療従事者をはじめ、新型コロナ対策に携わる関係者の方々、あるいは食品流通業務や、生活安全業務など、私たちの暮らしを支える方々に改めて感謝しましょう。

※岐阜県では、知事と42市町村の首長が連名で、この宣言を行いました。



神戸町消防団だより

今回は、先日8日に行われた「機動演習」について報告します。

演習は浄化センターで実施し、火災を想定した形で行いました。各分団は無線で水利(水を取る場所)を指定され、迅速に送水、正確に消火活動を行うことができました。また、演習を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策(検温、消毒、マスクの着用)にも取り組み、団員の安全確保にも努めました。

同日の午後には、全国火災予防運動の一環として、「防火パレード」で町民のみなさんに火災予防の啓発を行いました。一年で最も火災が発生しやすい時期です。火の元には十分注意していただくようお願いします。

みなさんが平穏な年末年始を過ごせるよう、28日から3日間、「年末夜警」を実施します。皆さんの生命と財産を守るため、消防団はがんばります!

▲一斉放水の様子

▲防火パレードで町内を巡回啓発